

新着図書からおすすめの5冊



毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日6月23日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、6月30日（火曜日）からです。

『真実の戦国時代』

渡邊 大門／著、柏書房／刊、請求記号：210.47/ Sh,63

内容：戦国大名の定義、検地、戦争・合戦、天皇、文化、キリスト教など、戦国時代の主要なテーマをわかりやすく解説。応仁の乱から関ヶ原の戦いまで、群雄が割拠した乱世の日本を多彩な視点から丸裸にする。

著者紹介：1967年神奈川県生まれ。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。著書に「戦国の貧乏天皇」など。

『世論調査とは何だろうか』

岩本 裕／著、岩波書店／刊、請求記号：361.4/ I,94

内容：どれが本当の数字なのか？ どの数字が信頼できるのか？ そんな疑問に答えながら、世論調査の仕組みと働きを紹介。国民の意思や意見のありかを伝え、権力を監視する強力な手段としての重要性を説く。

著者紹介：1965年愛媛県生まれ。早稲田大学法学部卒業。NHK放送文化研究所世論調査部副部長。著書に「世界のニュースがわかる本」「失われた「医療先進国」」など。

『戦争はどのように語られてきたか』

河出書房新社編集部／著、河出書房新社／刊、請求記号：391.1/ Se,73

内容：戦中・戦後を通じ、戦争はどのように語られてきたのか。1932年の「コミンテルン 日本における情勢と日本共産党の任務についてのテーゼ」から、1984年の加藤典洋「戦後再見」まで、21の歴史的資料・論考を収録。

『スポーツを10倍楽しむ統計学』

鳥越 規央／著、化学同人／刊、請求記号：780/ To,67

内容：スポーツでも重要になっているデータ解析。ゴルフからサッカー、格闘技まで、野球以外のスポーツを幅広く取り上げ、そのスポーツに内在する数字から、新たな魅力を引き出し、選手や戦術の評価法を提案する。

著者紹介：1969年大分県生まれ。筑波大学大学院数学研究科修了。博士(理学)。専門は数理統計学、セイバーメトリクス、スポーツ統計学。統計学者。著書に「9回裏無死1塁でバントはするな」など。

『会話が弾むのは、どっち!?』

櫻井 弘／著、ワニブックス／刊、請求記号：809.2/ Sa,47

内容：「この店、落ち着きますね」「コーヒー美味しいですね」会話が弾むのはどっち!? 日常生活でよく直面するシチュエーションでどのような会話をすればより会話が弾むのか、クイズ形式で楽しく解説する。

著者紹介：東京都生まれ。(株)櫻井弘話し方研究所代表取締役社長。(株)話し方研究所顧問。著書に「仕事ができる人は、なぜ「この話し方」をするのか?」など。

佐賀県立図書館 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp